

2014年度

新入社員の会社生活調査

注目データ

- ・ 8割以上がSNSを「ほぼ毎日利用」
- ・ 上司からのSNS友達申請「うれしい」半数超
- ・ 「社長になりたい」 調査開始(1990年度)以来、初めて1割を下回る
- ・ 女性の管理職志向 過去最高 28.8%
- ・ 「終身雇用を望む」 過去最高 76.3%

2014年6月

学校法人 産業能率大学

お問い合わせ先

企画広報部企画広報課

電話 : 03-3704-9040

ファックス : 03-3704-9404

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15

学校法人産業能率大学（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2014年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

この調査は、3月26日から4月10日まで、本学の産能マネジメントスクールが開催する「新入社員研修セミナー」に参加した新入社員のうち150社500人を対象に実施し、485人（男性318人・女性167人）から有効回答を得ました。本学では1990年度から、「新入社員の会社生活調査」として継続して実施しています。

全体総括

会社での出世競争には興味がなく、目標は“社長”ではなく“協調”。リーマンショックや東日本大震災などの経済・社会不安を学生時代に経験した今年の新入社員は、終身雇用のもと、「長期間安心して働きたい」とする意識が強い。

LINEなどのSNSをほぼ毎日利用しているが、仕事に関する書き込みは慎重。“協調”を重視する今年の新入社員は、上司からの友達申請はどちらかと言えば嬉しいが、取引先からの友達申請は敬遠したい。

今年の新入社員の95.9%がLINEなどのSNSを利用しており、そのうちの83.6%が「ほぼ毎日利用している」と回答しました。個人のSNSへの仕事に関する書き込みについては83.3%が「会社のマイナスイメージになるかもしれない」と回答しています。近年、SNSの書き込みが社会問題となるケースが増加しており、そのリスクを十分認識しているようです。

最終的に目標とする役職・地位は「社長」が調査開始（1990年度）以来初めて1割を下回り（9.0%）3年連続で減少しました。働く上で大事にしていることは「自分自身が成長すること」（68.4%）、次いで「長期間安心して働けること」（51.9%）となり、終身雇用を望む声も過去最高の76.3%となりました。

目次

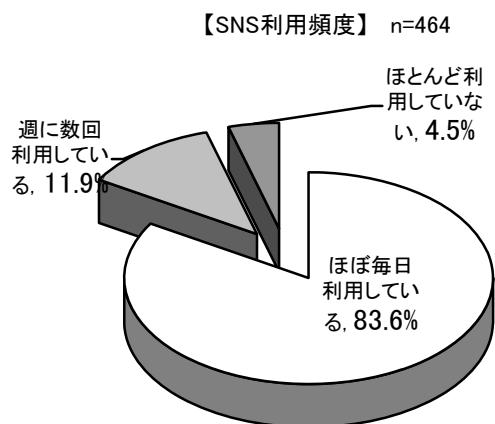
- 注目データ・・・P. 2 ~ P. 3
- 調査概要・・・P. 4
- 調査結果・・・P. 5 ~ P. 10
- データ集・・・P. 11 ~ P. 26

注目データ

● SNSを「ほぼ毎日利用」8割

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下SNS）を利用している新入社員に、利用頻度を尋ねたところ、「ほぼ毎日利用している」が83.6%となりました。特に女性は88.7%で男性（81.0%）を7.7%上回っています。

利用しているサービスとして、「LINE（90.5%）」、「Twitter（70.5%）」、「Facebook（59.6%）」が上位となりました。

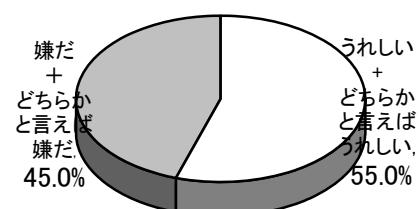


● SNS友達申請 上司はまあOK 取引先はNG

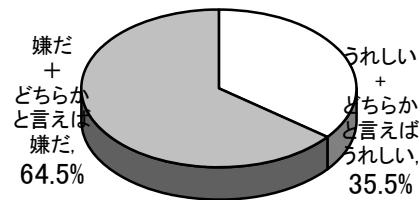
SNSを利用している新入社員に、上司からSNSで友達申請があつたらどう思うかを尋ねたところ、「うれしい」が17.7%、「どちらかと言えばうれしい」が37.3%、合わせて55.0%と半数をやや上回りました。理由は、「仕事以外で接点をもてるから（56.9%）」が最も多くなっています。一方で45.0%は拒否感を示し、理由は「公私は分けたい（69.4%）」とする意見が大半を占めています。

また、取引先からの友達申請に対しては、24.7%が「嫌だ」39.8%が「どちらかと言えば嫌だ」で、およそ3人に2人の新入社員が拒否感を示しました。

【上司からの友達申請】 n=464



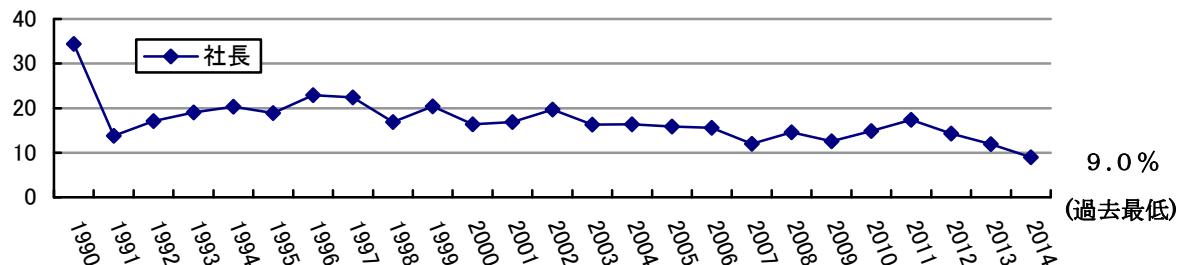
【取引先からの友達申請】 n=464



●最終目標 「社長」過去最低 9.0%

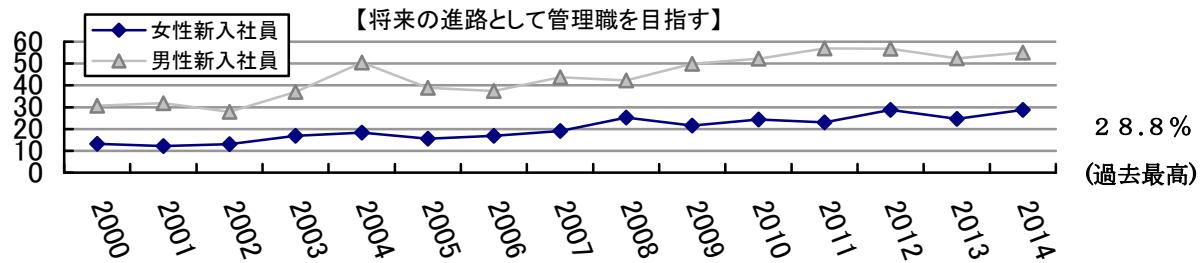
調査開始(1990年度)以来、初めて1割を下回る

【最終的に目標とする役職・地位】



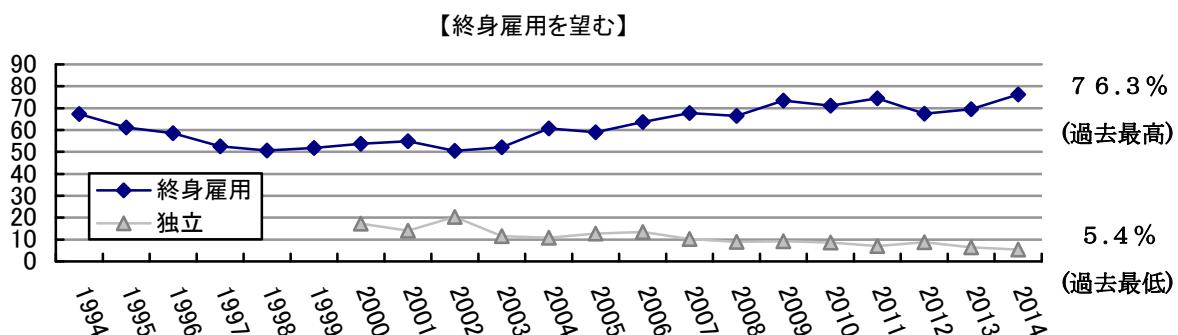
最終的に目標とする役職・地位について尋ねた結果、「社長」が9.0%で、調査開始(1990年度)以来初めて1割を下回り、過去最も低い数値となりました。

●女性の管理職志向 過去最高 28.8%



女性の管理職登用を進める企業が増える中、将来の進路として「管理職で部門の指揮をとる」と回答した女性新入社員が28.8%で、過去最高となりました。

●終身雇用を望む 過去最高 76.3%



「終身雇用」を望む回答が過去最高の76.3%となりました。これまで2011年度の74.5%が最高でしたが、これを1.8ポイント上回りました。

調査概要

1. 調査対象 産能マネジメントスクール主催の新入社員研修セミナー参加者のうち
150社500人

2. 調査時期 2014年3月26日～4月10日

3. 調査方法 書面アンケートによる回答肢選択方式

4. 有効回答 485人
(男性318人・65.6%／女性167人・34.4%)

5. 所属企業プロフィール

(従業員数)	100人未満	99人	(20.4%)
	100人以上 500人未満	267人	(55.1%)
	500人以上 1,000人未満	88人	(18.1%)
	1,000人以上	31人	(6.4%)
			485人 (100.0%)

(上場区分)	上場企業	180人	(37.1%)
	非上場企業	240人	(49.5%)
	企業以外の法人	65人	(13.4%)
			485人 (100.0%)

(企業所在地)	北海道	1人	(0.2%)
	東北	0人	(0.0%)
	関東	428人	(88.2%)
	中部	8人	(1.6%)
	近畿	45人	(9.3%)
	中国	1人	(0.2%)
	四国	0人	(0.0%)
	九州	2人	(0.4%)
			485人 (100.0%)

2014年度 新入社員の会社生活調査

調査結果

1. 就職活動の結果

- ・就職活動 大変だったが、満足度高い
- ・就職先の選定 「企業規模」「仕事内容」減少 ／ 「給与水準」「所在地」上昇

1-1. 就職活動の感想

今年度の就職活動を振り返って（P. 12／問1）もらったところ、「かなり大変だった」が29.1%で、昨年度から1.8%増加し2年連続で上昇しました。「思ったよりたいへんだった（43.8%）」と合わせると72.9%となり、就職活動に苦労した様子が伺えます。

『就職活動の結果』（P. 13／問2）については、「たいへん満足」が52.0%、「やや満足」が41.9%で、合わせて93.9%が“満足”と回答しました。1994年度からの経年で見ると、「たいへん満足」と回答した割合は〔1994年度：33.2%／2004年度：45.6%／2014年度：52.0%〕となり、年度によって幾分上下はあるものの、就職活動への満足度は年々高まっているようです。

1-2. 就職先選び

『就職先を選ぶ際に重視した項目』（P. 14／問3）については、「仕事内容」がもっとも高く67.4%、「業種（64.1%）」、「企業風土（40.4%）」、「所在地（38.8%）」が続いています。経年の推移を見ると、「仕事内容」、「企業規模」、「経営者」は次第に下がり、「所在地」や「給与水準」は年々上昇しています。仕事内容や業種が就職先選びの大きな要素である一方で、“働く条件”を重視する傾向があるようです。男女で差の大きかったものは、男性が「給与（対女性比+12.0%）」で女性が「仕事内容（対男性比10.5%）となりました。

2. SNSの利用

- ・友達申請 上司からは「うれしい」がやや優勢／取引先からは「嫌だ」
- ・SNSのリスク認識は高く、職場にガイドラインがあれば安心する

2-1. 利用しているSNS

『利用しているソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）（複数回答）』（P. 15／問4）について尋ねると、スマートフォンの急速な普及に伴い95.9%がSNSを利用していると回答しました。中でも「LINE」の利用者が最も多く、男性の89.3%、女性の92.8%が利用しています。

『SNSをどの程度利用しているか』（P. 16／問5）では、全体の83.6%が「ほぼ毎日利用している」と回答しました。

2-2. SNSの友達申請

『上司からSNSで友達申請があったらどう思うか』（P. 16／問6）では、「うれしい」が17.7%、「どちらからと言えばうれしい」が37.3%で、好意的に受け止める意見がやや優勢となりました。『“うれしい”“どちらかと言えばうれしい”と思う理由』（P. 17／問7）は、「仕事以外で接点を持てるから」が56.9%となりました。一方で、『“嫌だ”“どちらかと言えば嫌だ”と思う理由』（P. 17／問8）は、「公私を分けたいから」が69.4%で最も多くなりました。『取引先からの友達申請』（P. 18／問9）では「嫌だ+どちらかと言えば嫌だ」が64.5%となり、約3人に2人の新入社員が拒否感を示しています。

2-3. SNSへの書き込み

『個人のSNSへの仕事に関するこの書き込みは会社にどのような影響があるか』（P. 18／問10）を尋ねたところ、83.3%が「会社のマイナスイメージになるかもしれない」と回答。近年、SNSへの書き込みが社会問題となるケースも発生しており、“リスク”への認識は高いようです。また『会社にSNSの利用に関するガイドラインがあったらどう思うか』（P. 18／問12）には58.8%が「安心する」と回答し、「制限されたくない（41.2%）」を上回りました。日常的にSNSを利用する新入社員は、SNSのリスクを認識しているものの自己判断には不安があり、明確なガイドラインに則って利用したいという意識が見られます。リスク回避の観点からも企業によるSNSのガイドラインの整備が必要となりそうです。

3. 自身の将来展望

- ・管理職志向が上昇 女性は過去最高に
- ・「独立」「社長」はいずれも過去最低

3-1. 働く上で重要なこと

『これから働く上で自分にとって重要なこと』(P. 19／問13)は、「仕事を通じて自分自身が成長すること」が男性は62.3%、女性は80.1%で、それぞれ最も多くなりました。次いで男性は、「長期間、安心して働くこと(54.4%)」、「職場のメンバーから認められること(47.5%)」、女性は、「他メンバーと協力して働くこと(54.2%)」、「職場のメンバーから認められること(49.4%)」となりました。

また男性は「昇進することやリーダーになること(対女性比+13.8%)」、「仕事内容に見合う報酬が得られること(対女性比+11.0%)」と仕事に対する評価を重視し、女性は「仕事を通じて自分自身が成長すること(対男性比+17.8%)」「他メンバーと協力して働くこと(対男性比+11.7%)」など、自身の成長や、職場での人間関係を重視する傾向があるようです。

3-2. 仕事で不安なこと

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』(P. 19／問14)の男女それぞれのトップは、男性は「上司・先輩とうまくやつていけるか」で76.4% (女性2位/77.7%)、女性は「自分の能力で仕事をやつていけるか」78.9% (男性2位/66.0%) でした。3番目には男女とも「プライベート時間を確保できるか」が入りました。

3-3. 将來の進路

『將來の進路としてどのような方向を望むか』(P. 20／問15)では、「役職には就かず、担当業務のエキスパートとして成果を上げる」「専門職志向」は45.9%で昨年とあまり変化がない一方で、「管理職として部下を動かし、部門の業績向上の指揮を執る」という「管理職志向」が昨年を2.2%上回って46.2%となりました。また「独立して自分の会社を起ち上げる」「独立志向」は、5.4%と過去最低(昨年比-1.1%)となりました。

『転職から受けるイメージ』(P. 21／問16)は、64.4%が「キャリアアップ」ととらえ、「挫折」としているのは35.6%でした。

『最終的に目標とする役職・地位』(P. 22／問17)では、「地位には関心がない」を除くと「部長クラス」が21.1%で最も高く、これに「役員(20.7%)」「社長(9.0%)」が続いています。「社長」は過去最低だった昨年(11.9%)をさらに下回り、9.0%と調査開始(1990年度)以来、初めて1割を下回りました。

4. 待遇・雇用制度

- ・**仕事と育児の両立 金銭的援助より勤務の融通が有効**
- ・**終身雇用制度を望む 過去最高の76.3%**

4-1. 仕事と育児の両立

『仕事と育児の両立のために、企業が講じる施策として最も有効だと思うもの』(P.23／問18)を尋ねると、男性では「育児休業制度の充実」が40.7%、女性は「フレックス制導入など勤務時間の融通」が40.6%でそれぞれ最も多くなりました。女性の社会進出が進み共働き世帯が増える中で、仕事と育児を両立するためには扶養手当などの金銭的な援助よりも、育児休業やフレックス制度などの“勤務の融通”が有効だと考えているようです。

4-2. 定年

『定年退職の年齢』(P.24／問19)について、最も多かったのは「65歳(47.5%)」で、昨年度より3.3ポイント増加しました。「60歳」は32.2%で昨年度より2.0ポイント下がりました。

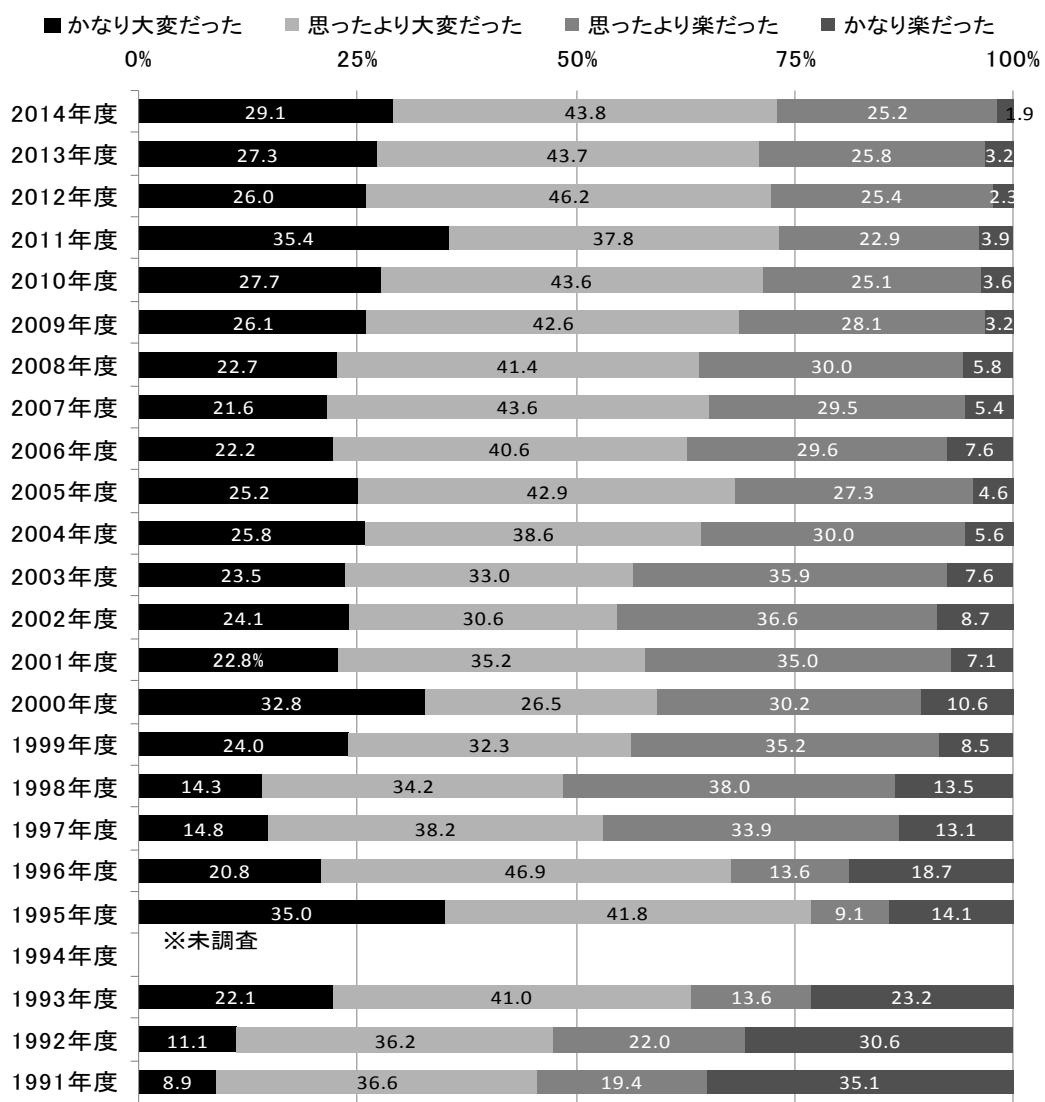
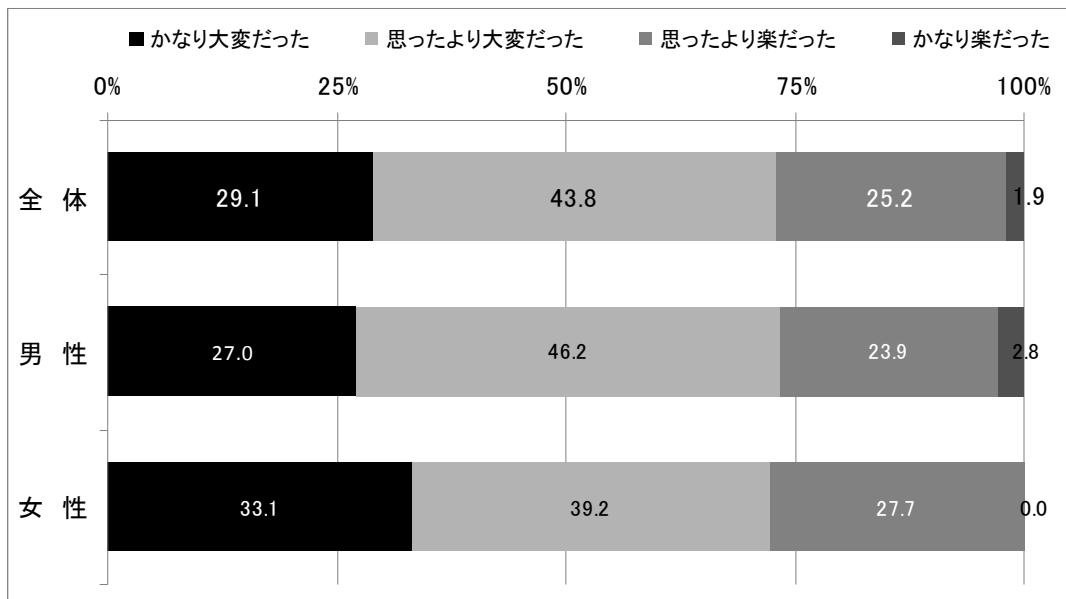
4-3. 人事制度

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』(P.25／問20)を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が56.7%、「年功序列」が43.3%となり「成果主義」が過半数を超えるました。経年で見ると、3年連続で「年功序列」側にシフトしてきており「年功序列」を希望する新入社員が増えつつある現状があります。また『終身雇用制度を望むか』(P.26／問21)尋ねたところ、「望む」が76.3%で過去最高となりました。

2014年度 新入社員の会社生活調査
データ集

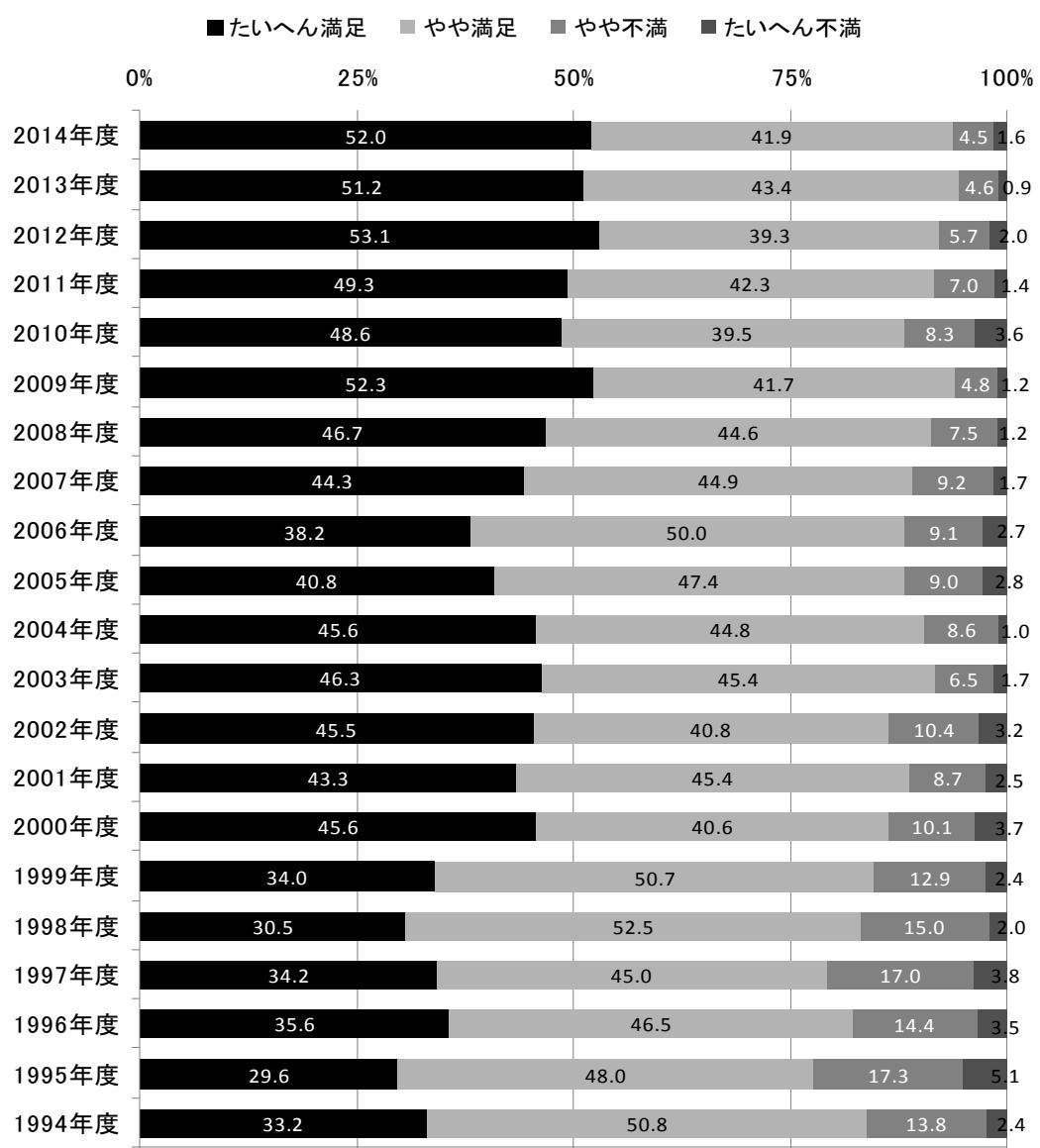
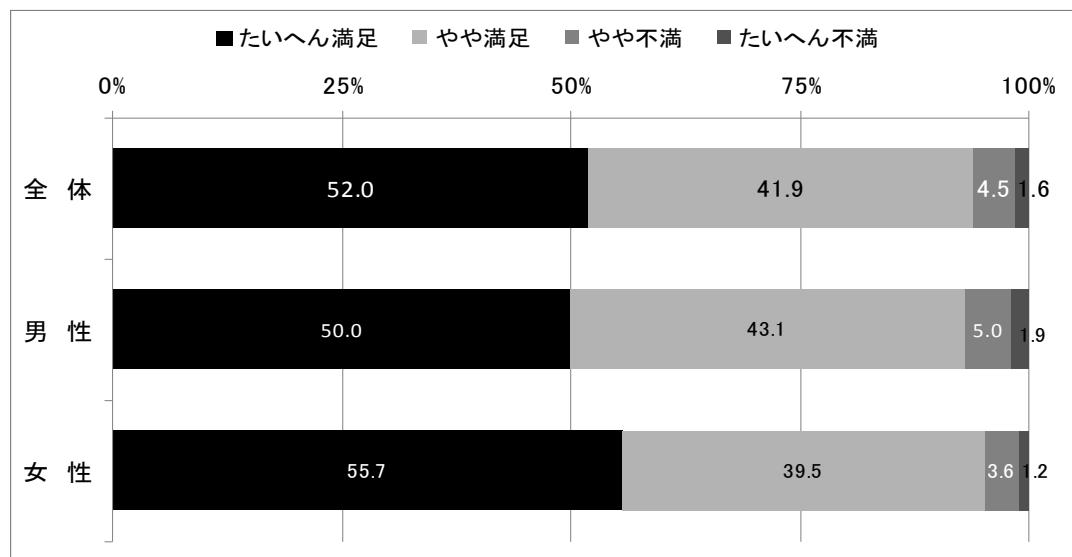
問1. ご自身の就職活動を振り返って、どのように感じましたか？

(n=484)



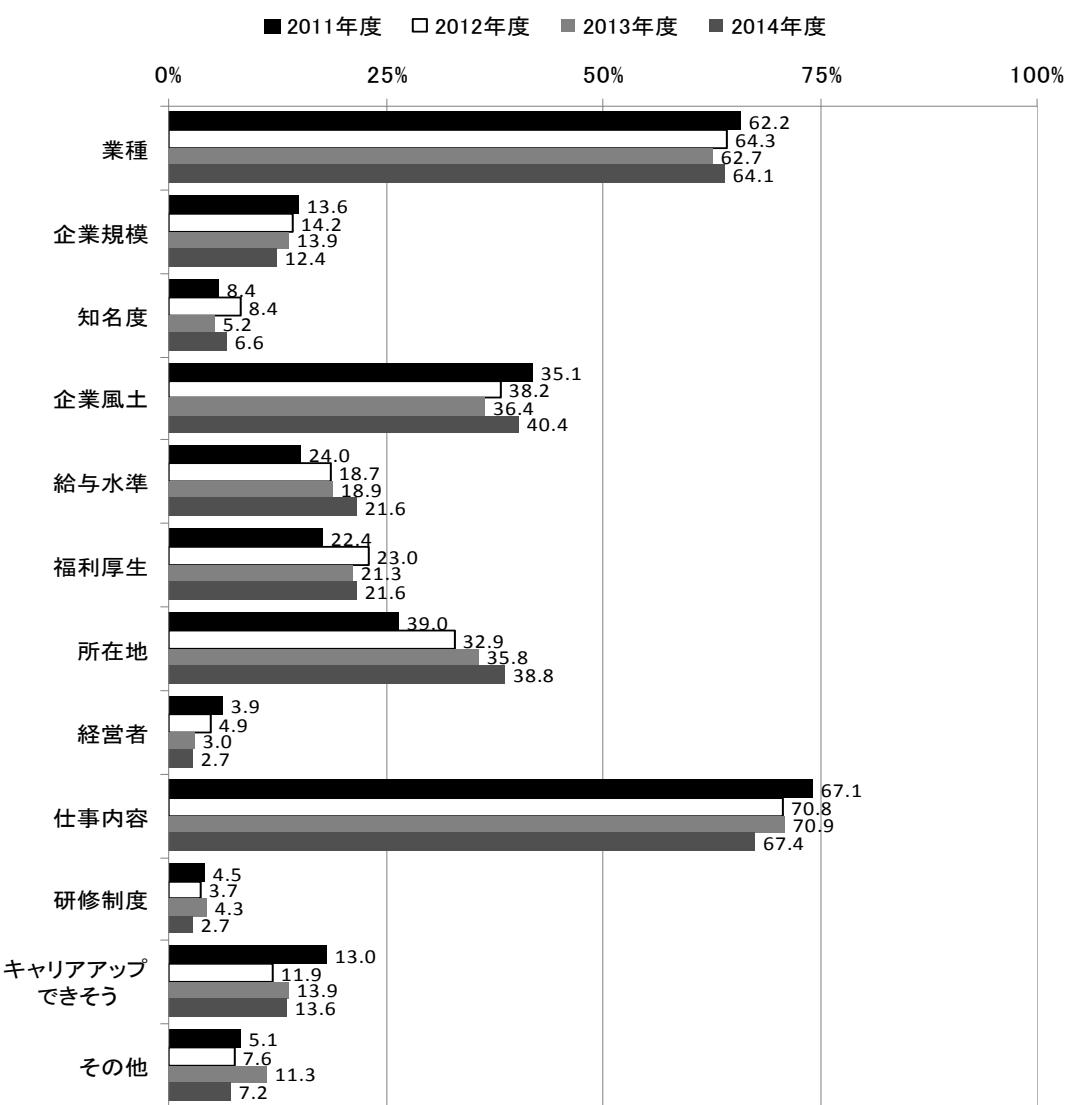
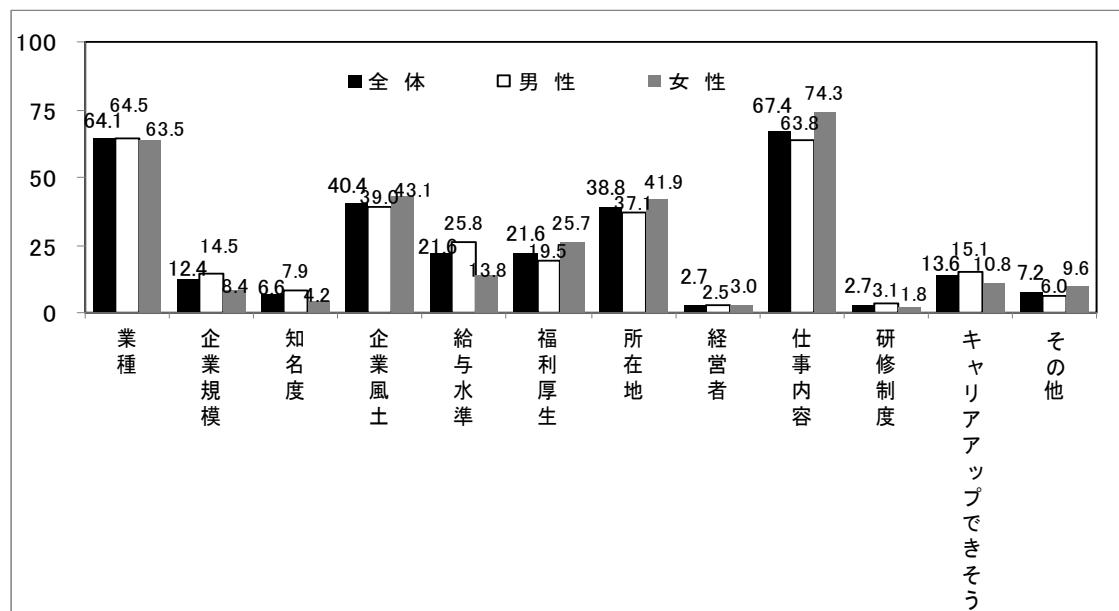
問2. 就職活動の結果に満足していますか？

(n=485)

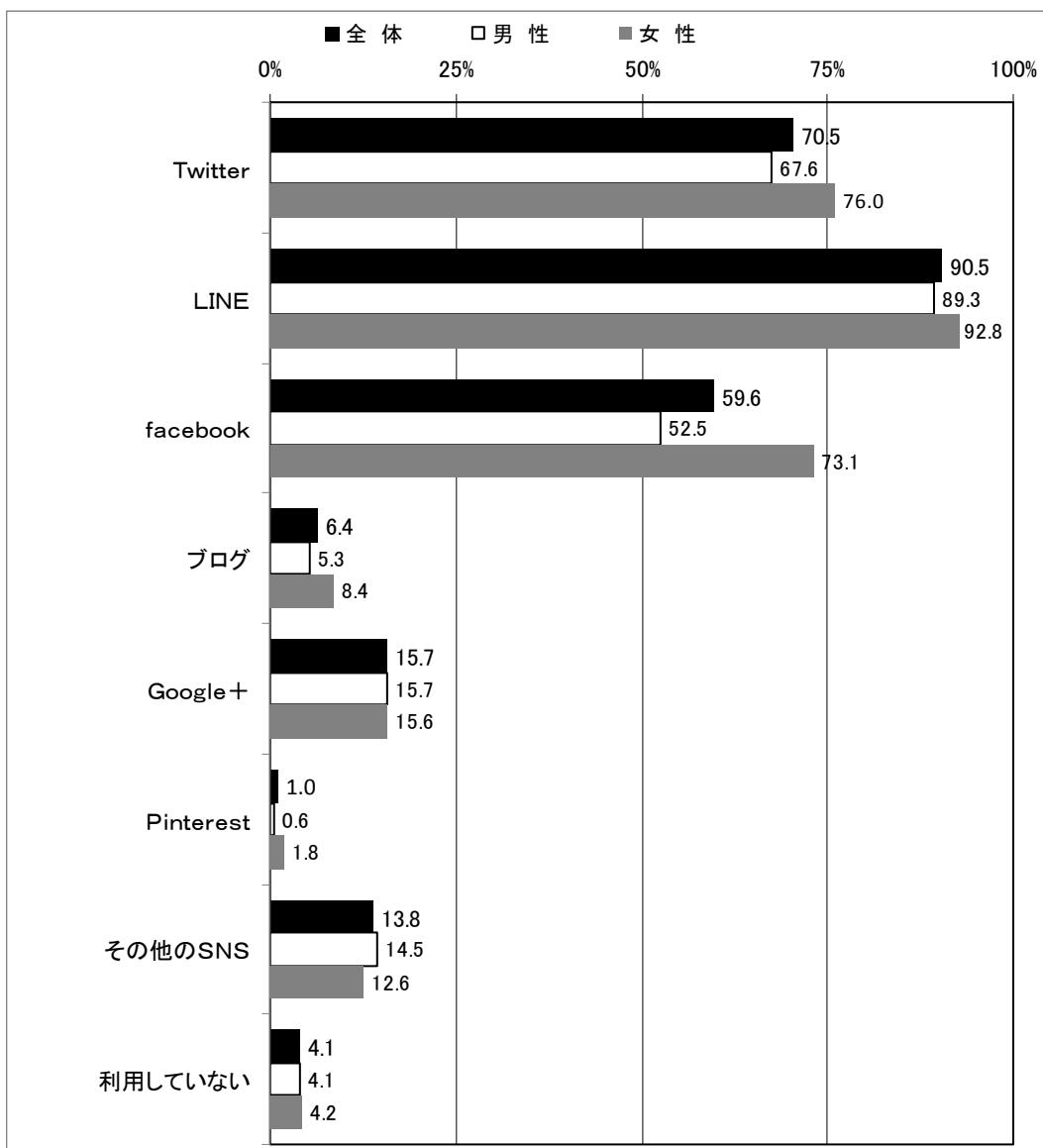


問3. 就職先を選ぶ際に重視した項目はどれですか？（3つ選択）

(n=485)

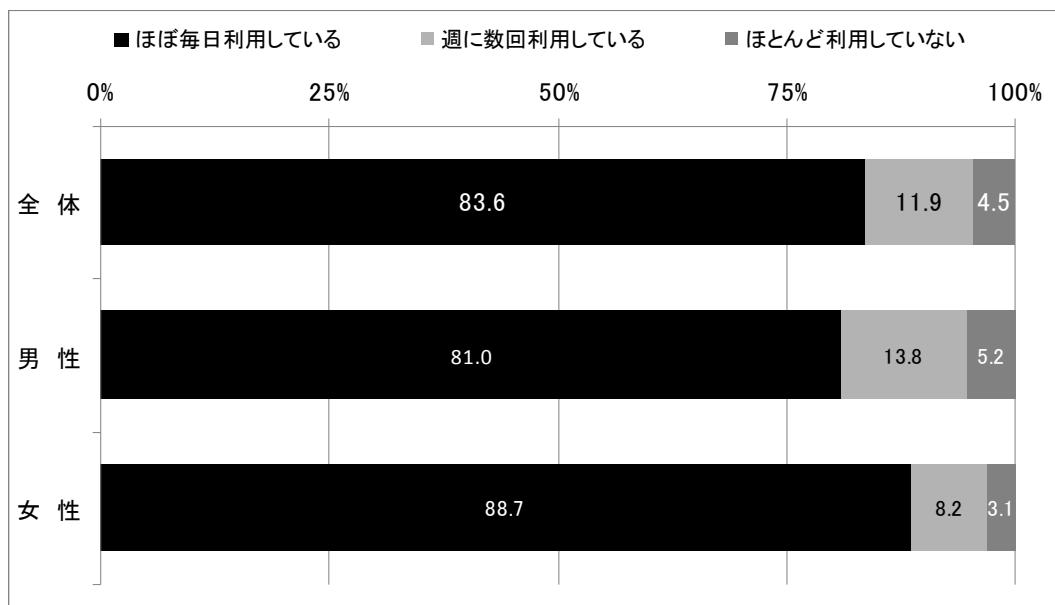


問4. あなたは以下のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を利用していますか？
(n=485)



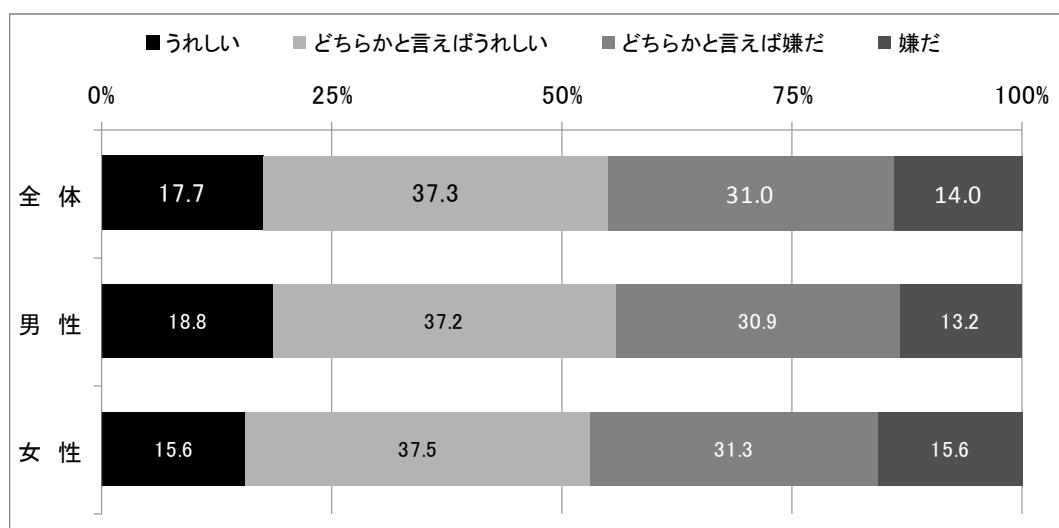
問5. ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）をどの程度利用していますか？

(n=464)

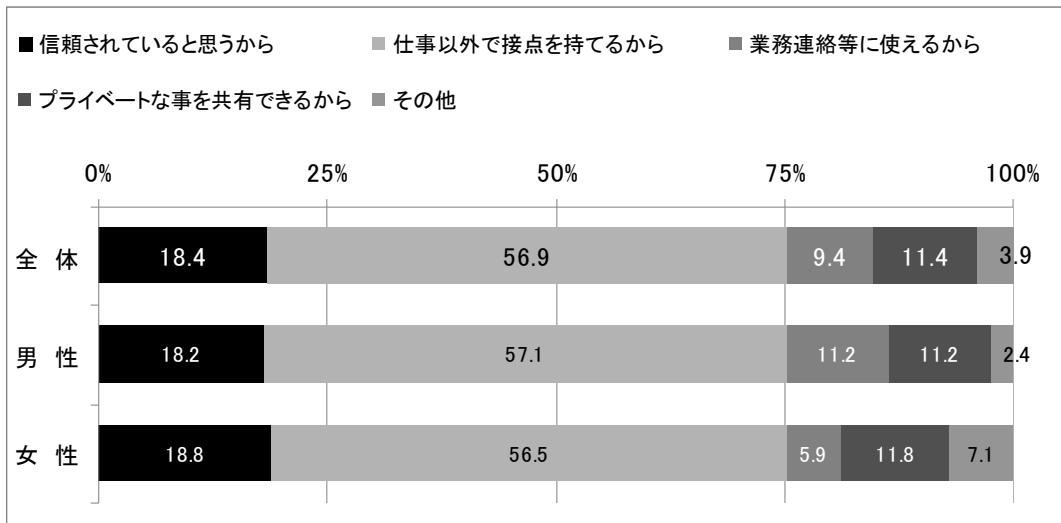


問6. あなたは会社の上司からSNSで友達申請があったらどう思いますか？

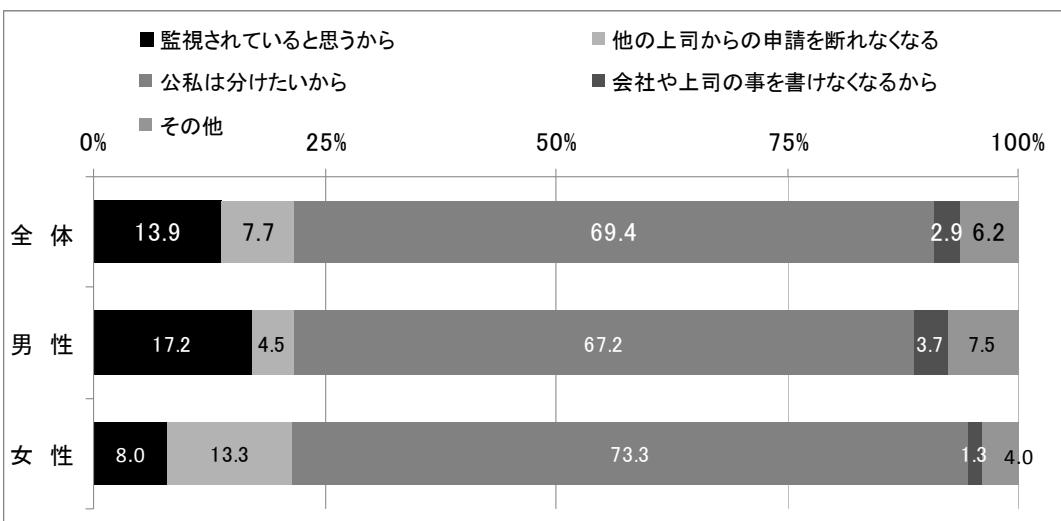
(n=464)



問7. (問6で「うれしい」もしくは「どちらかと言えばうれしい」と回答した方へ) どのような理由でそう思いますか?
(n=255)

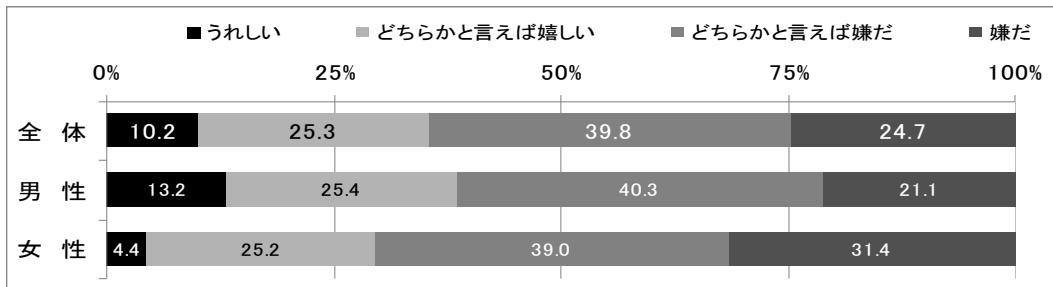


問8. (問6で「嫌だ」もしくは「どちらかと言えば嫌だ」と回答した方へ) どのような理由でそう思いますか?
(n=209)



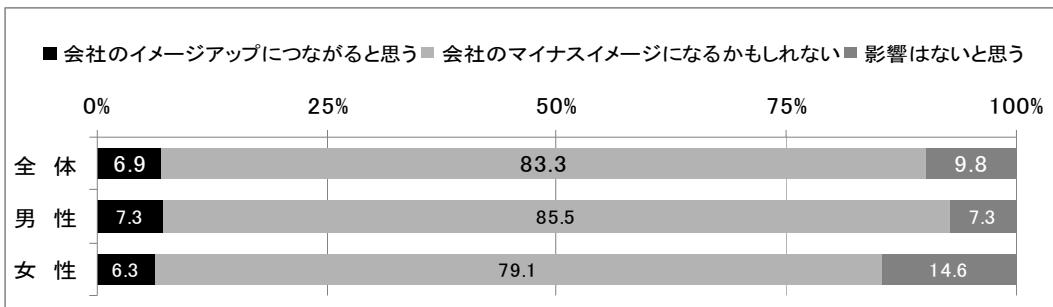
問9. あなたは会社の取引先からSNSで友達申請があつたらどう思いますか?

(n=462)



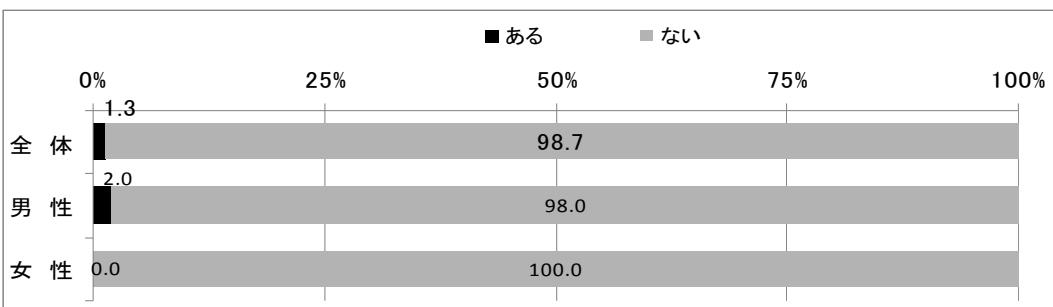
問10. 個人のSNSへの仕事に関する書き込みは、会社にどのような影響があると思いますか?

(n=461)



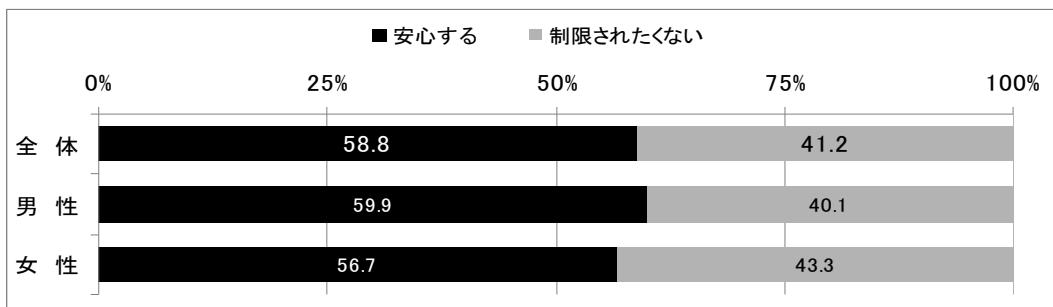
問11. あなたはこれまで自身のSNSにおいて“炎上”したことがありますか?

(n=465)



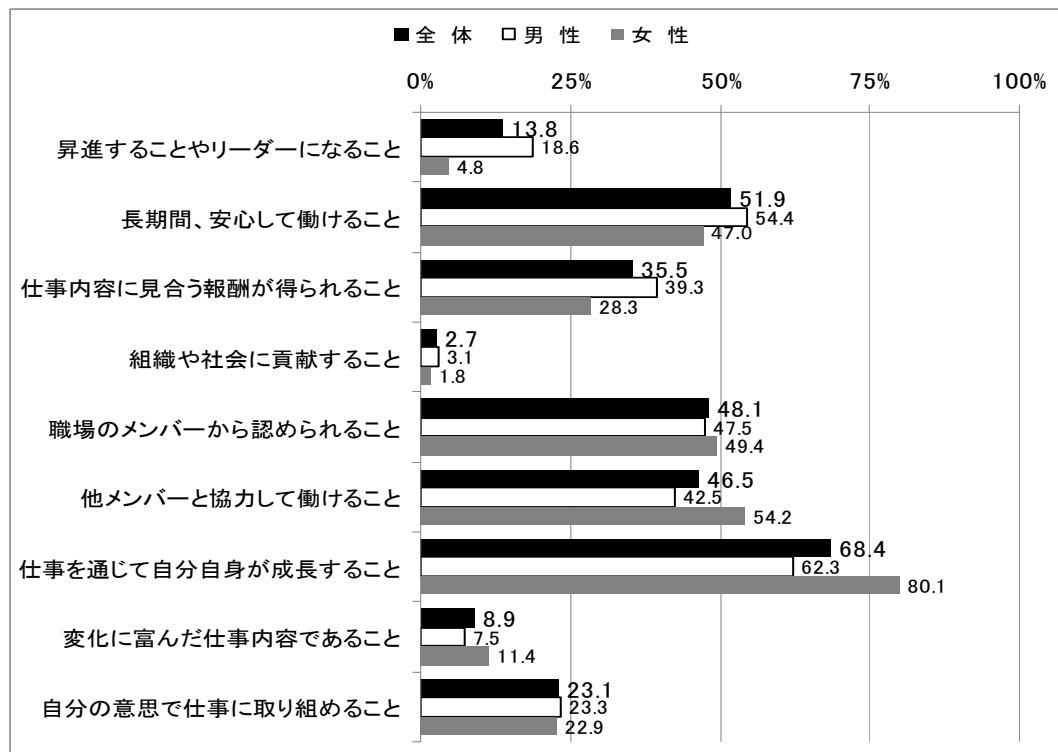
問12. あなたは会社にSNSの利用に関するガイドラインがあつたらどう思いますか?

(n=459)



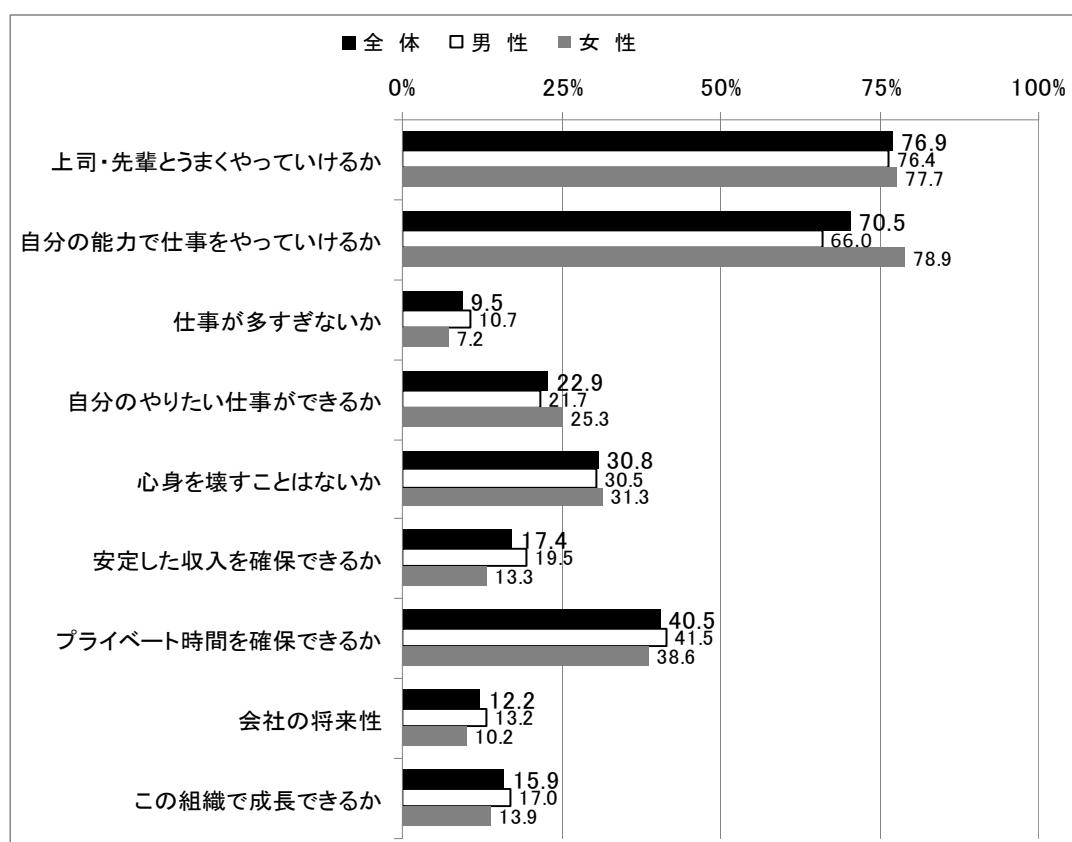
問13. あなたは「働く」上でどのようなことが自分にとって重要だと感じますか？

(n=484)



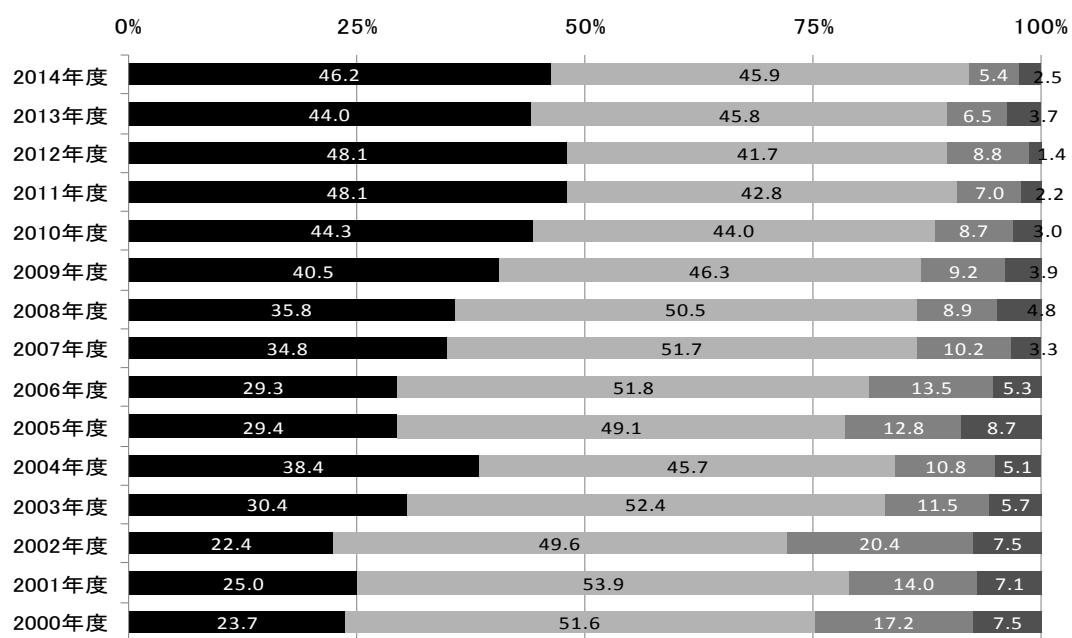
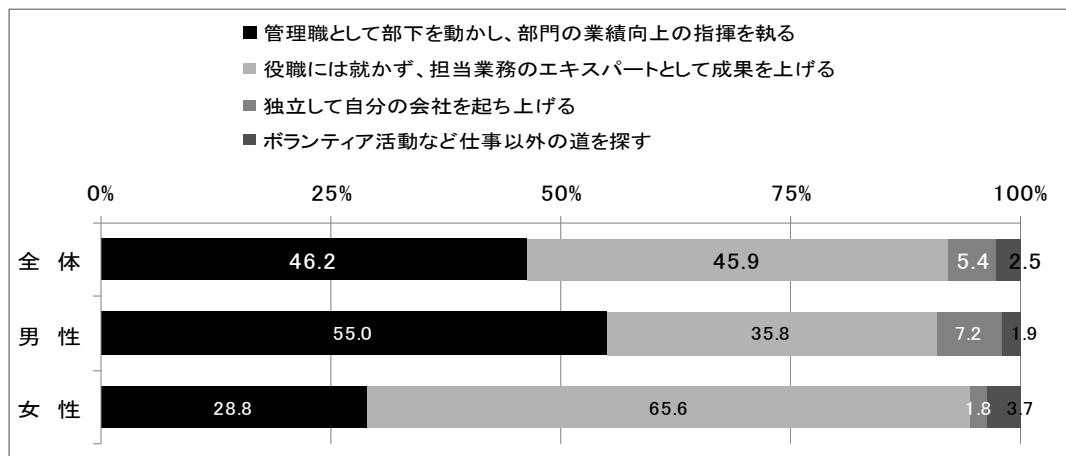
問14. 働き始めるにあたって、不安に思っている事は何ですか？（3つ選択）

(n=484)



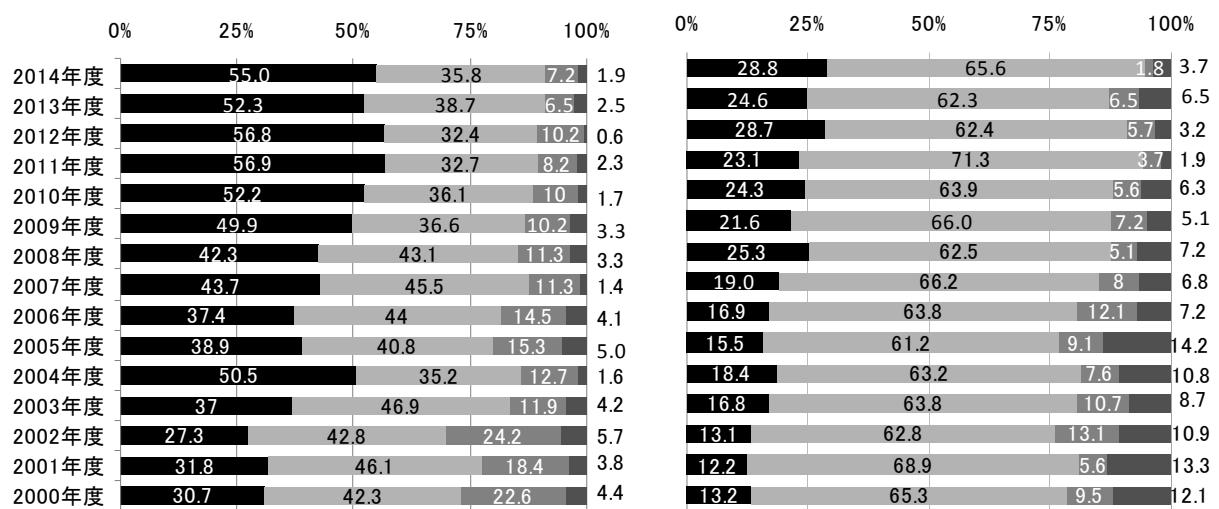
問15. 将來の進路としてどのような方向を望みますか？

(n=481)



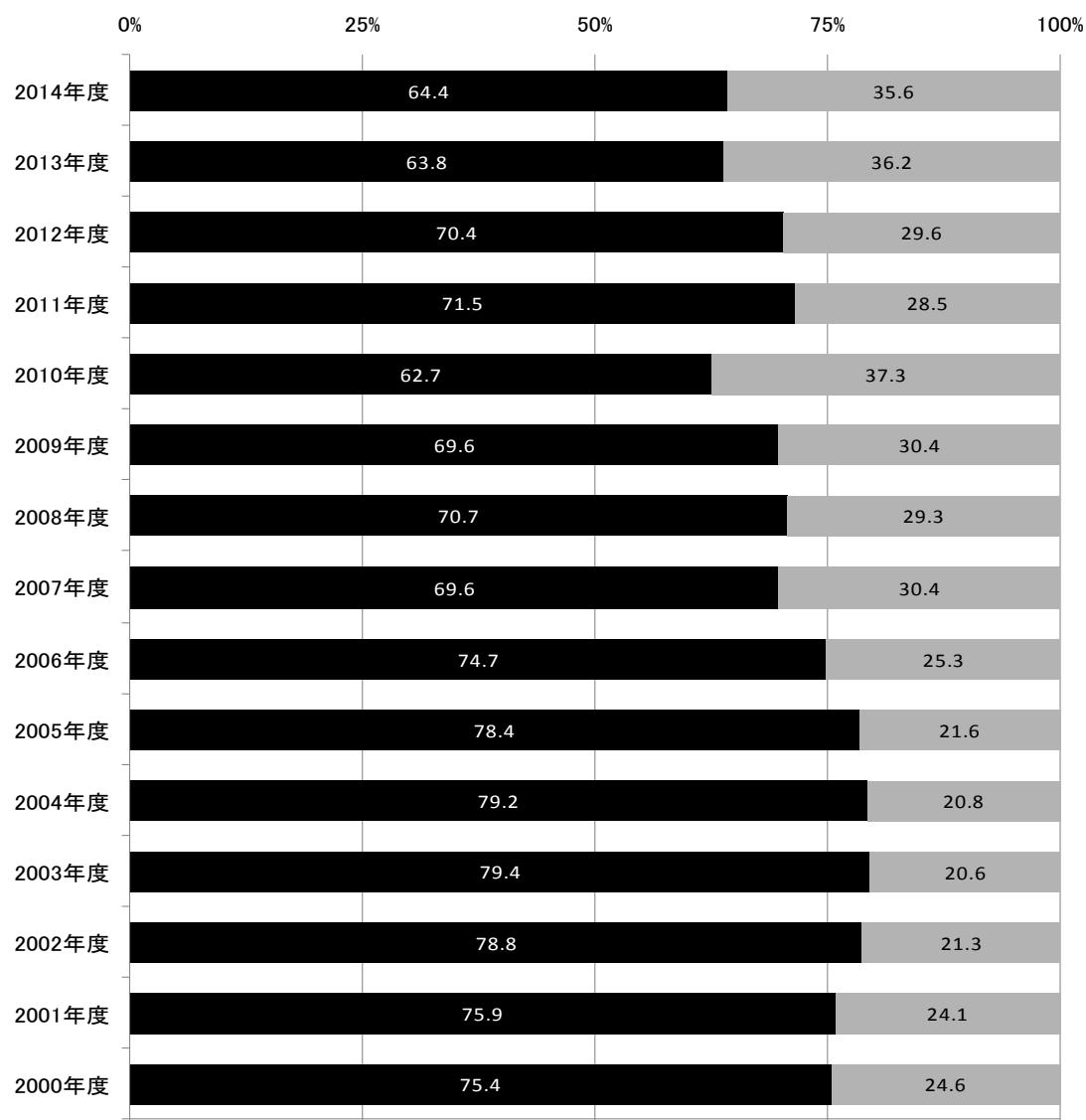
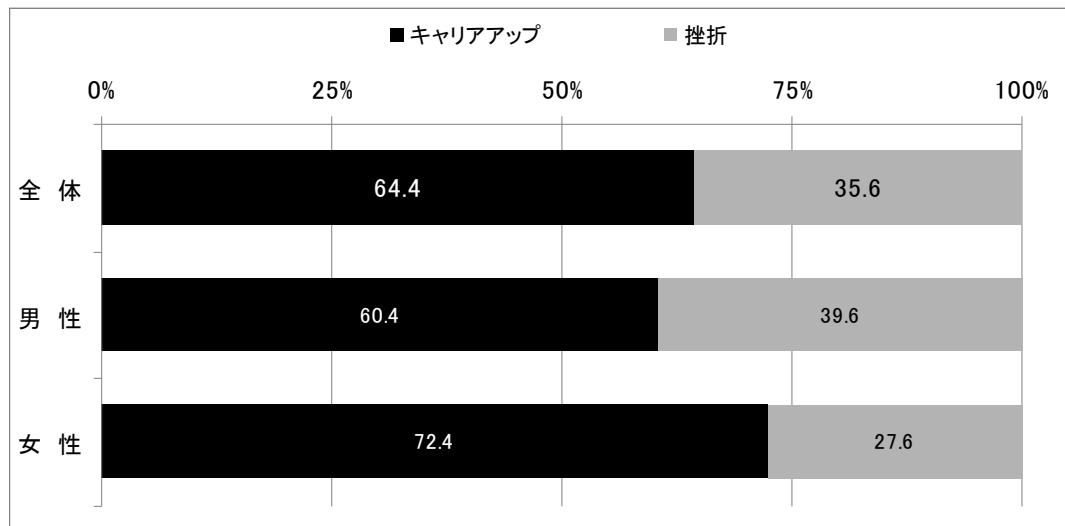
◆ 男性

◆ 女性



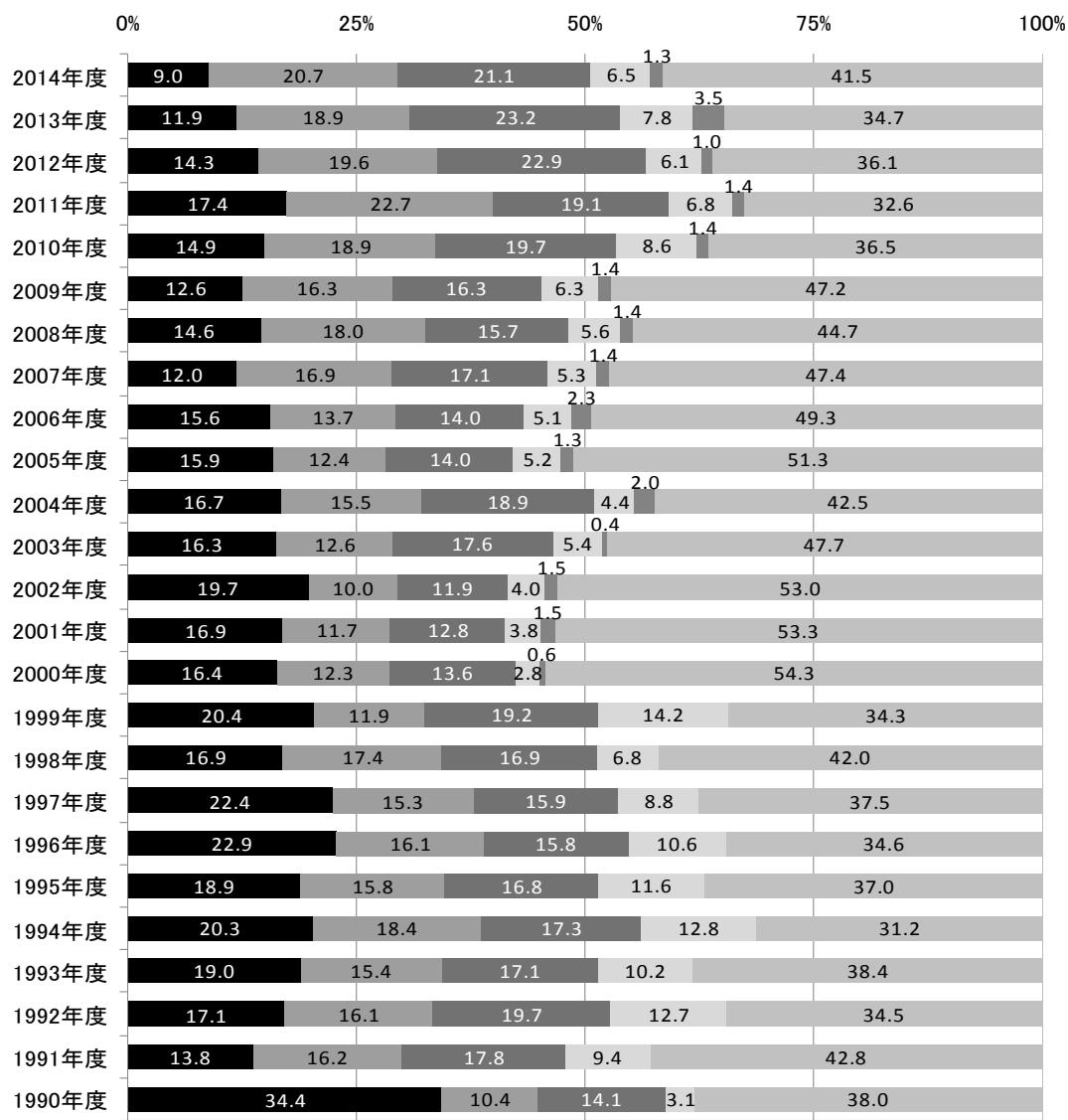
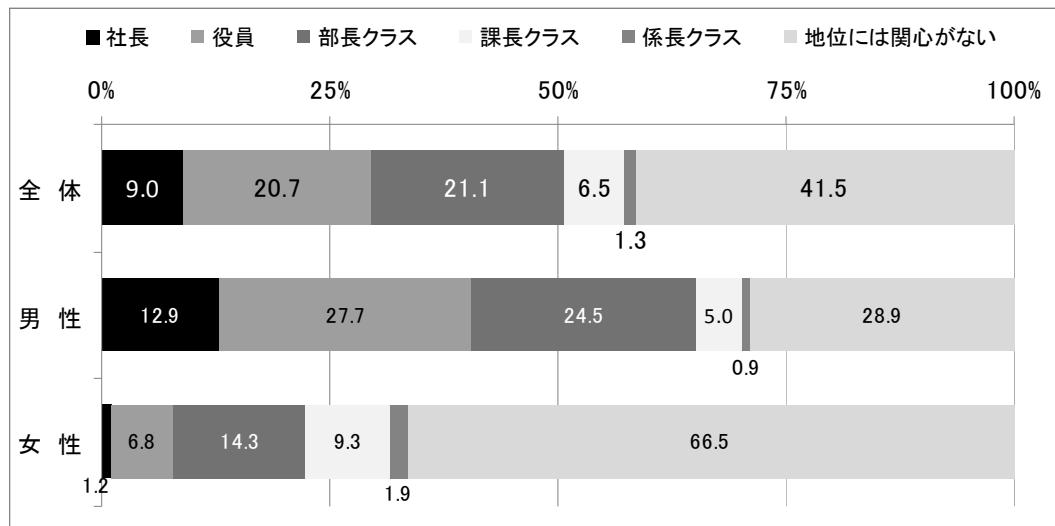
問16. 転職から受けるイメージとしてより強く感じるのはどちらですか？

(n=481)



問17. あなたが最終的に目標とする役職・地位は？

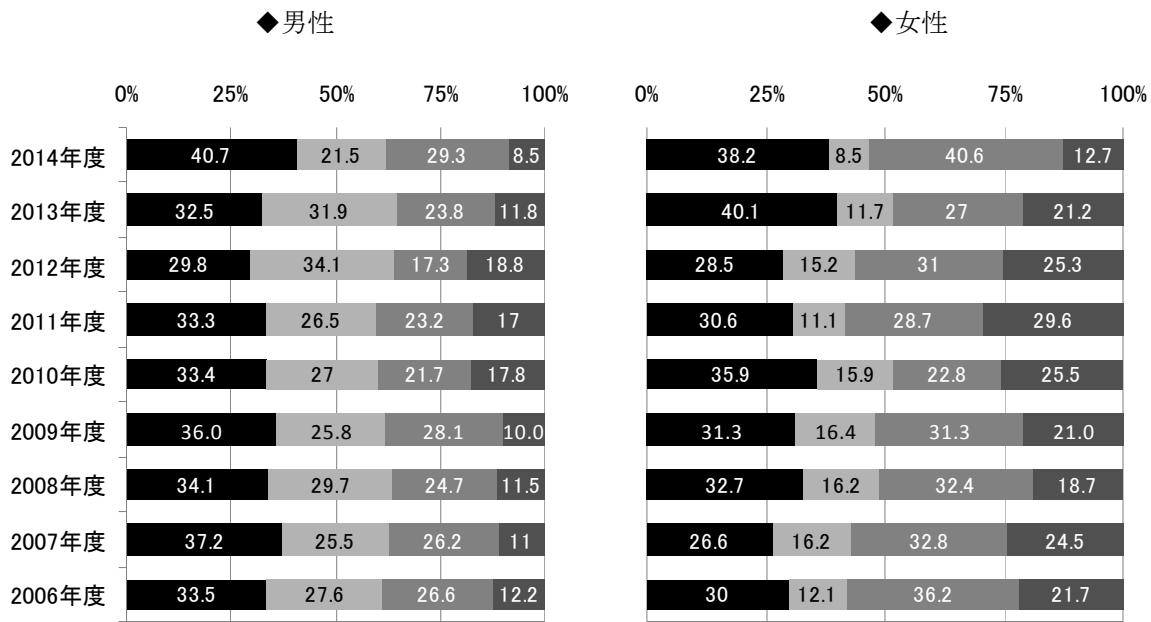
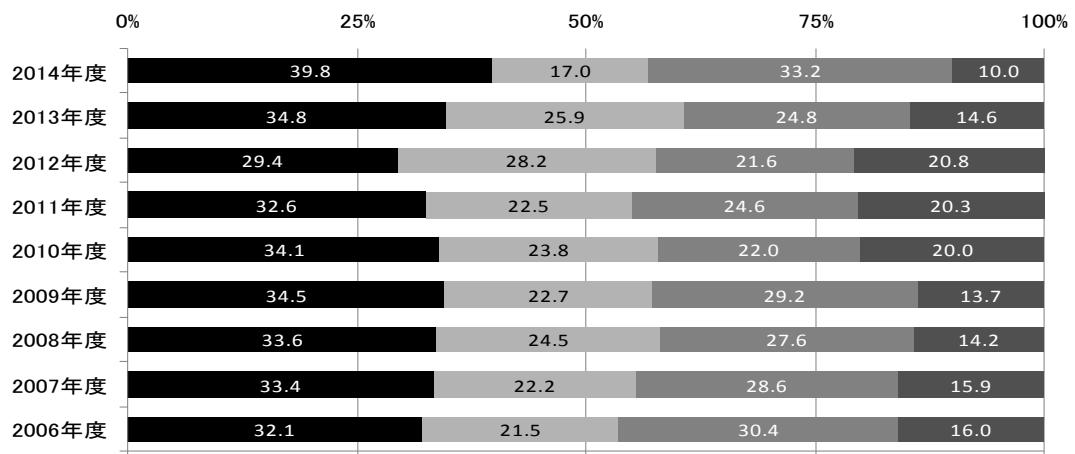
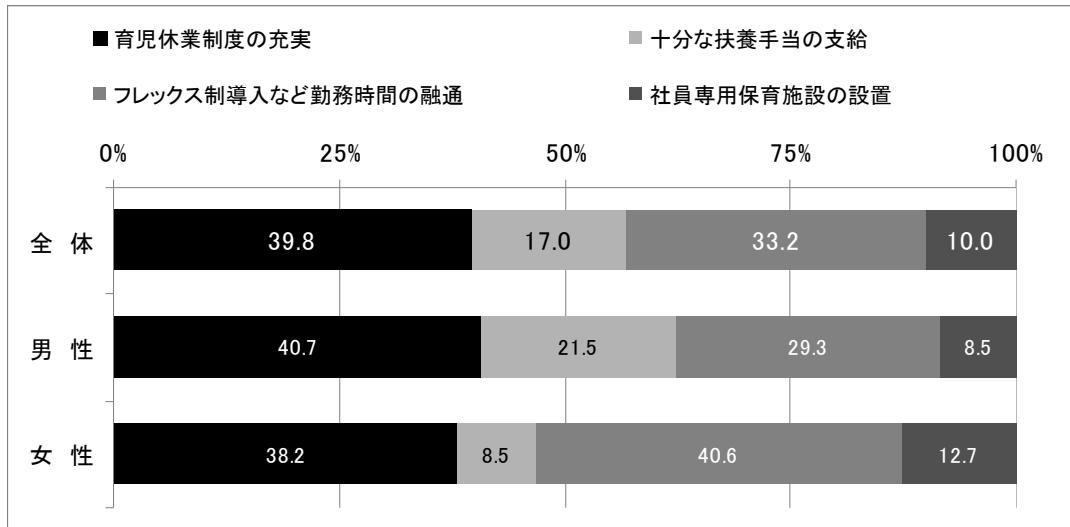
(n=479)



(※2000 年度から「係長クラス」の選択肢を追加)

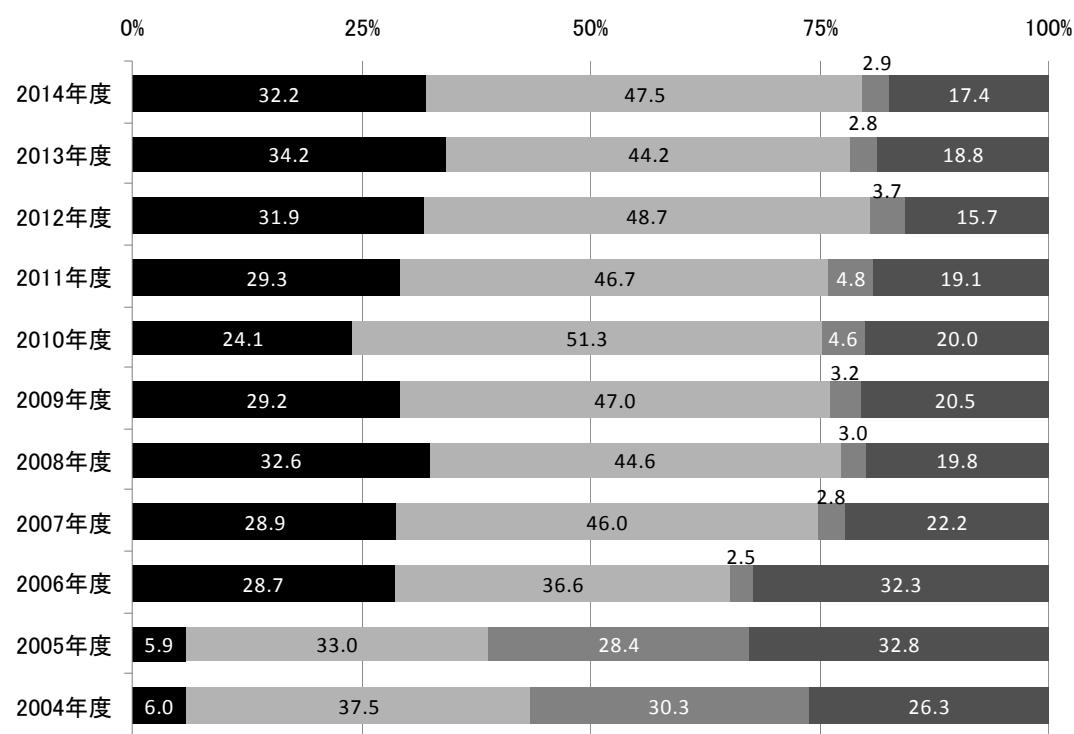
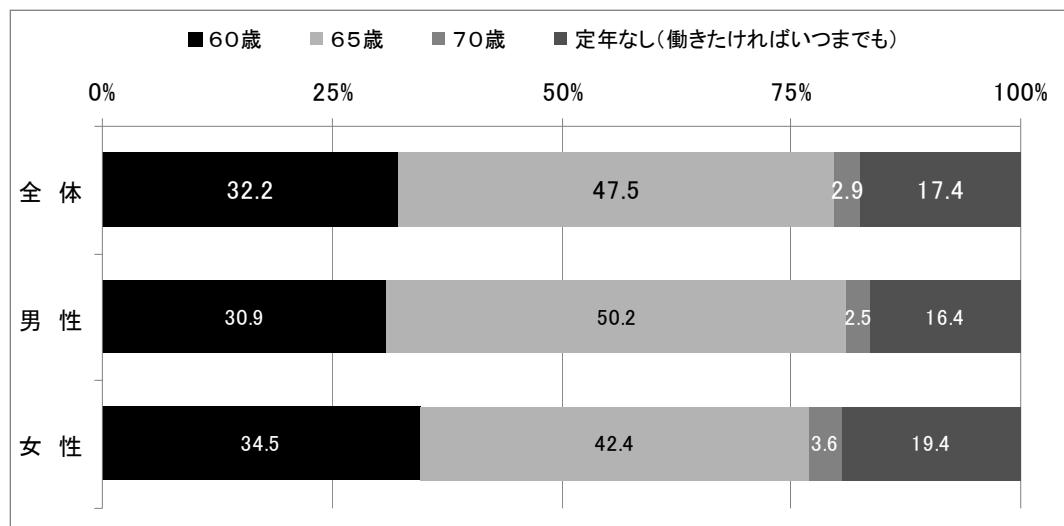
問18. 仕事と育児の両立のために企業が講じる施策として最も有効だと思うものはどれですか？

(n=482)



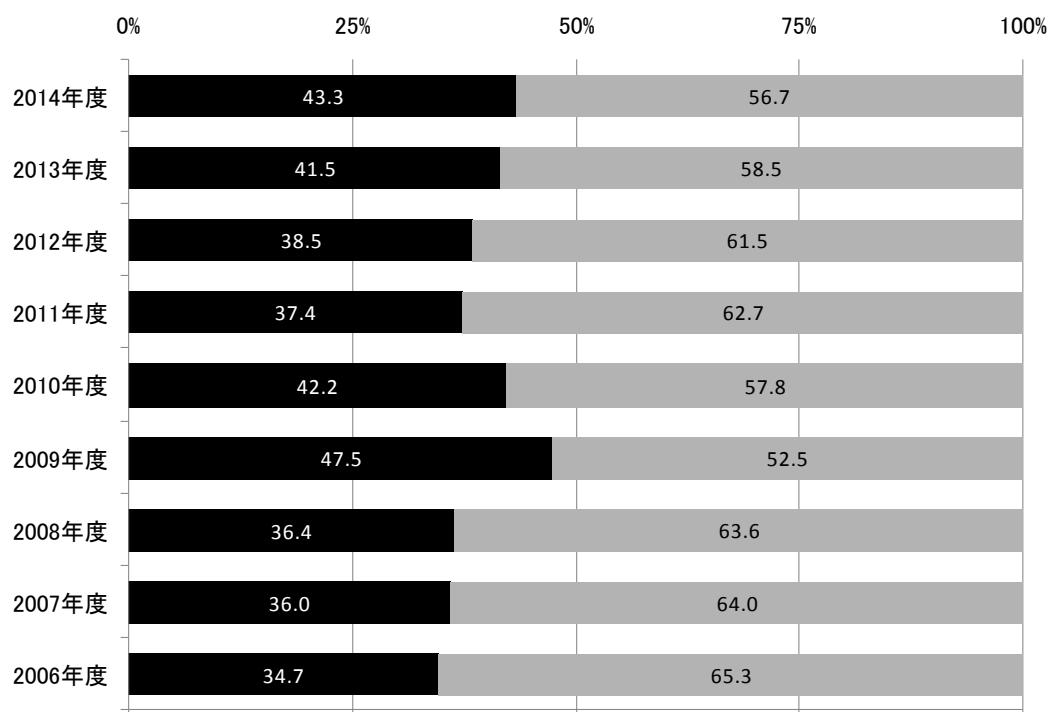
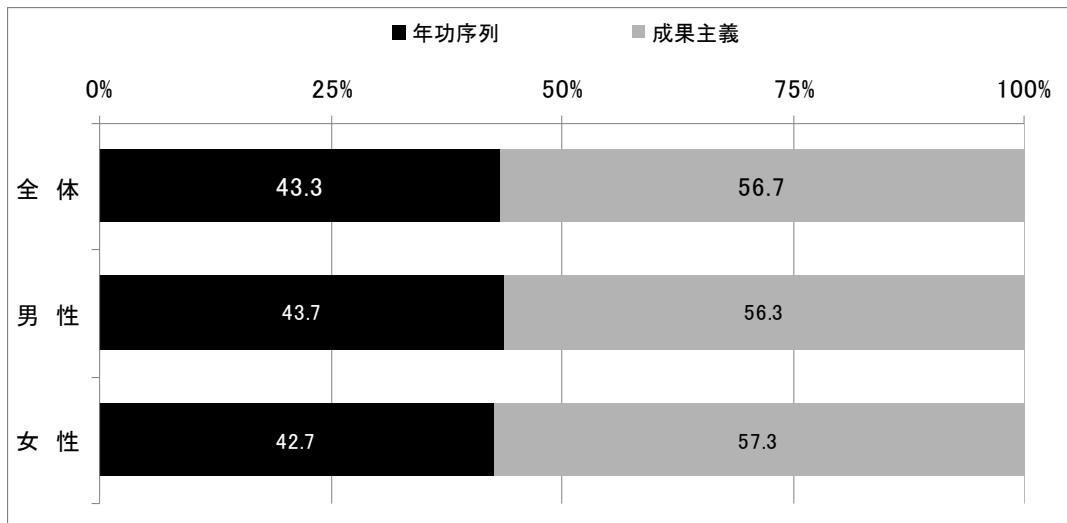
問19. 定年退職の年齢は何歳くらいがいいと思いますか？

(n=482)



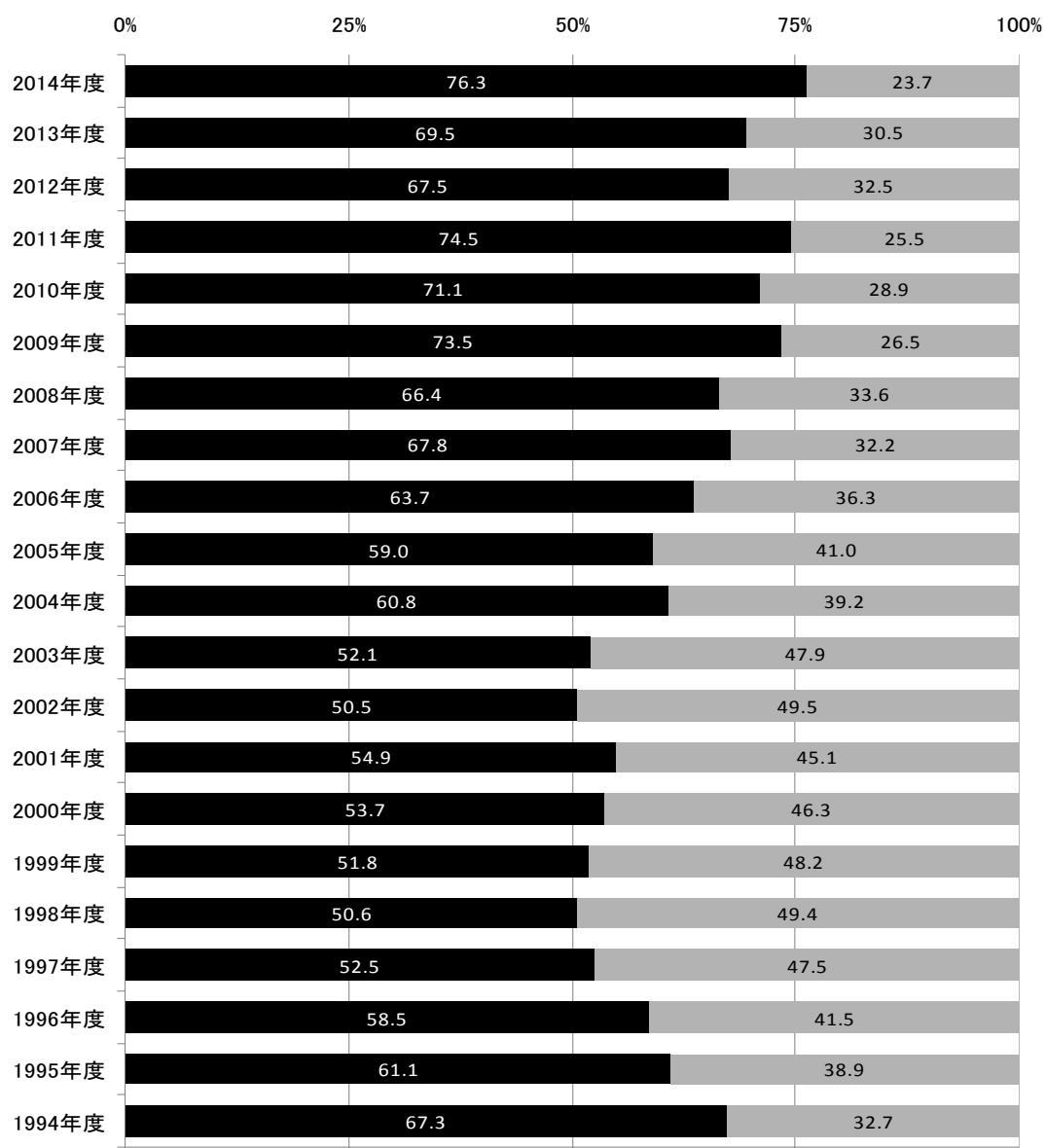
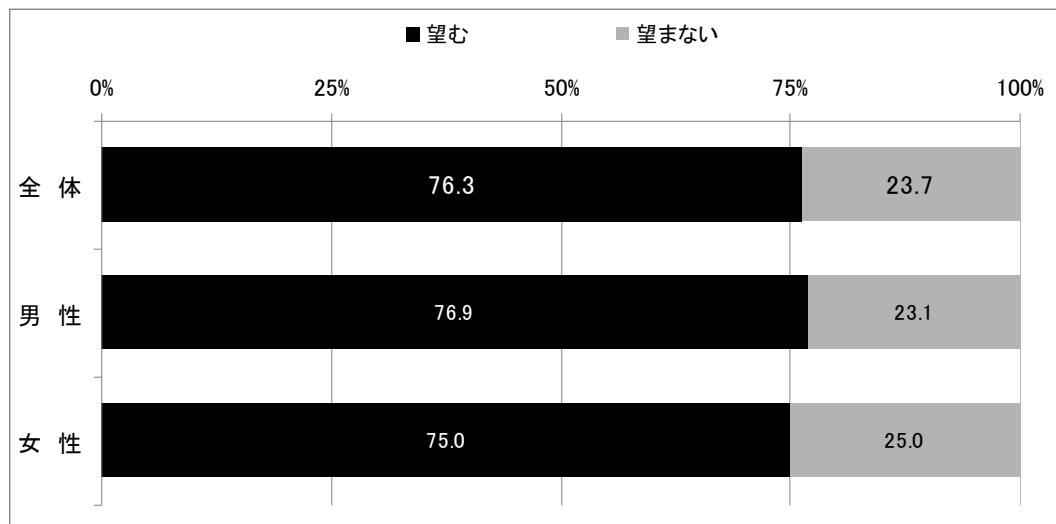
問20. 年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と業績に応じて決まる成果主義的な人事制度では、どちらを望みますか？

(n=480)



問21. “終身雇用制度”を望みますか？

(n=476)



2014年度
新入社員の会社生活調査

2014年6月

学校法人産業能率大学
〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15
TEL : 03-3704-9040
(企画広報部企画広報課)
